



雅結いと琉装を体験し笑顔を見せる体験者ら
||4日、那覇市の県立博物館・美術館

美しいからじ結いを多くの人に広めようと、からじ結い・琉装体験教室「美(ちゆ)ら姿(しがた)」(玉木流琉(ぎりゅう)研究(けんきゅう))が、からじ結い遊(あし)び」(玉木流琉(ぎりゅう)研究(けんきゅう))として、琉装・からじ結い研究(けんきゅう)が、美しいからじ結いと琉装を

「似合つかも」

体験した。

同研究所は9月4日を「くしの日」として、昨年からこの催しを始めている。体験者は、位の高い王女の髪形である「雅(みやび)結い」や一般女性の髪形である「和(なごみ)結い」など4種類から希望する種類を選べる

くしの日

が、多くが雅結いを選んでいたという。同研究所の所員に、15分ほどで髪を結われ、琉装に着替えた後、写真撮影に臨んだ。髪を結っていた歌手の花城舞さん(28)は、「沖縄で生まれ育つたので、一度は体験してみたかった。意外と似合うかも」と期待した。主婦の宮国恵子さん(55)は、「いい思い出になつた。テンペストに出たみたい」と笑顔を見せた。